








芳賀青年の家 日誌

<p>1月9日</p>		<p>主催事業「ろくろで作る益子焼」を実施しました。講師として、益子焼伝統工芸士の萩原芳雄先生、萩原芳典先生に御協力いただきます。</p>
<p>1月9日</p>		<p>午前は、益子焼についての講話を聞き、午後は陶芸実習を行いました。先生の実演を見てから、土練りやろくろの実習に励みました。</p>
<p>1月9日</p>		<p>初めての参加者は、ろくろの基本でもある土練りや芯だしを繰り返し行っていました。経験のある参加者は、自分の思いを生かした作品づくりに取り組んでいました。</p>
<p>1月10日</p>		<p>実習2日目は、2グループに分かれてろくろ実習とクラフト活動(紙すき)を行いました。ろくろ実習では、前日に学んだことを生かして、茶碗や丸皿、湯飲みなど素晴らしい作品を次々に仕上げていきました。</p>
<p>1月10日</p>		<p>クラフト活動では、紙すきを行いました。牛乳パックを煮出して、細かくちぎり、ミキサーに掛けたものを、すいていきます。今回の実習では、和紙などのちぎり絵を入れたはがきを作りました。</p>
<p>1月16日</p>		<p>緊急事態宣言発出期間中の主催事業中止により、作業途中になってしまった作品の高台削りを講師の先生方をお願いし、作業を行っていただきました。</p>
<p>1月16日</p>		<p>講師の先生方の技は本当に素晴らしく、思わず見入ってしまいました。それぞれの作品を一つ一つ丁寧に仕上げてくださいました。</p>